

平成27年10月1日

各位

株式会社山口フィナンシャルグループ

国立大学法人山口大学および山口県との連携による 地域企業に対する成長支援について

株式会社山口フィナンシャルグループ(代表取締役社長 福田 浩一)は、当社の100%出資子会社である株式会社YMF G ZONEプランニング(代表取締役社長 矢儀 一仁)を通じて、国立大学法人山口大学(学長 岡 正朗)および山口県(知事 村岡 嗣政)と連携し、地域で活躍する企業の新事業創出を支援する取組みを進めてまいりますので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域経済の持続的な発展のためには、「産・学・公・金」の連携により、地域企業が健全な成長を行っていくことが、重要な要素であると考えております。地域経済における地元金融機関の担う役割が重要となる中、当社のグループ3銀行(北九州銀行、山口銀行、もみじ銀行)が有するネットワークを活用し、地域企業の継続的な成長に寄与してまいります。

記

1. 目的

国立大学法人山口大学(以下「本大学」)が、平成27年10月1日より本大学が単独で保有する知的財産(特許、実用新案、意匠等)の利用にかかる実施料を、一定期間無料で開放することに併せ、当社および本大学、山口県が連携し、企業が新たな技術や事業を生み出し収益化するまでの各ステージ(事業化前、事業化中、事業化後)において、側面的な支援を行うものです。

2. 概要

本連携において、当社は以下の3つの役割を担います。

①事業化前：当社グループ3銀行のネットワークを活用した情報収集

(内容) 企業が保有する技術(未利用・低稼働特許等)や、企業が抱える技術課題、技術相談に関する情報(企業のシーズ、ニーズ)を収集し、本大学が無料開放する特許情報(シーズ)と集約させることで、ニーズとシーズの効率的なマッチングを支援します。

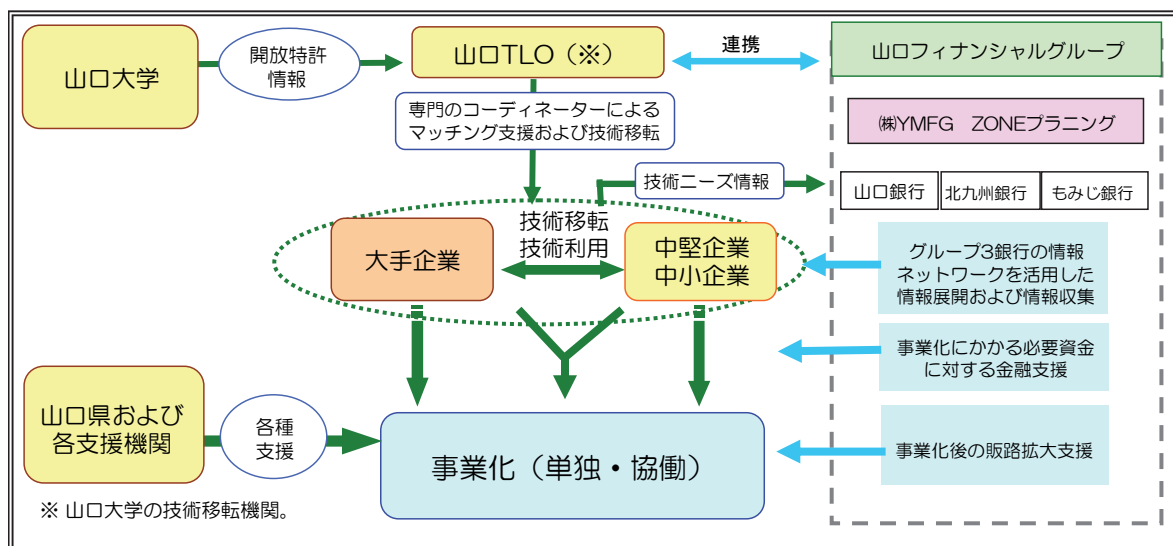
②事業化中：事業化までに必要な資金に対する金融支援

(内容) 企業が新たな技術や事業を生み出す過程から金融機関が積極的に関与し、企業が持つ技術に対する目利き力を高めることで、保証人や担保に過度に依存せず、事業性を評価した金融支援を目指します。

③事業化後：販路拡大支援

(内容) 当社グループ3銀行のネットワークを活用したビジネスマッチングを展開することにより、新製品（技術）の販路開拓および収益化を支援します。

3. 連携イメージ



以 上

【本件に関するお問合せ先】

山口銀行 地域振興部

担当：濱島

TEL 083-223-5139

株式会社 YMFZ ZONEプランニング

担当：福山、恩田

TEL 083-223-4202